

少しずつ解除へ

新型コロナウイルスの影響で公的な機関が閉鎖されたり、規制があったりしましたが、少しずつ解除されてきました。十日町情報館と各分館は、5月7日から貸出・返却が行われるようになり、その後、施設の利用が可能になってきました。そして、6月1日からは、ほとんど通常の状況で開館されています。ぜひ、利用してください。もちろん、まだまだ気を緩めるわけにはいきません。人との距離をとったり、手洗いやマスク着用など、できることで感染防止をしながら進んでいきましょう。



十日町情報館では、感染防止のために長い時間滞在しないでもいいように、「**出会いの3冊**」を用意しました。職員のみなさんが、いろいろなテーマで3冊セットを作って袋に入れてあり、サッと選べるようになっていました。ぜひ、今まで読んでことがないテーマの本も手にしてほしいです。大人用と子ども用があります。私は、大人用も子ども用も借りています。子どもたちに紹介してみてください。読書の幅が広がります。

図書委員会サミット中止

本年度の重要な取組の1つだった十日町教育センター主催の「図書委員会サミット」ですが、どうしても「3密」の状況になってしまうことを考え、本年度は中止することになりました。本年度、実践発表をお願いしていた飛渡第一小学校と吉田中学校の2校の図書委員会のみなさんには、大変申し訳なく思いますが、来年度、ぜひ発表をお願いします。

サミット開催ができなくなりましたので、各学校の取組紹介の展示もできないか…と思いましたが、せめて展示だけでもお願いしたいと考えています。時期になりましたら依頼文書をお送りいたします。無理のない範囲で、ぜひご協力をお願いします。その報告のなかの特徴的な取組を通信の紙面で紹介することも考えています。

「家読体験記」について

これまで届いた「家読体験記」は、十日町情報館の広報紙「よむよむ」で紹介させていただいています。各公民館の分室も含めて貸出カウンターの近くには、用紙を常備していますので、読書家の子どもたちに「『家読体験記』を書いてみませんか?」と声を掛けていただくとありがたいです。家でどんな風に本を読んでいるのか? どうやって読む本を選んでいるのか? 家族との会話は? と興味は尽きません。

「本の修理」出張指導

「図書委員会の子どもたちに本の修理の指導をしてほしい」という依頼がありました。候補の日を挙げてもらい、情報館の職員の都合と照らし合わせて、日時を決めました。「学校図書館の支援」も情報館の大事な役目です。何かありましたらいつでも声をかけてください。できる範囲ではありますが、お役に立てるようにしていきます。